

**北方領土学習を取り入れた
北方領土隣接地域への修学旅行等拡充調査**

報告書

2012年3月

北方領土学習を取り入れた修学旅行等拡充検討委員会

目 次

序章 調査の目的	序-1
序-1 調査の目的	序-1
序-2 委員会の設置	序-1
第1章 北方領土隣接地域への修学旅行等の誘致の現状把握.....	1-1
1-1 調査方法	1-1
1-2 北海道への修学旅行実施状況.....	1-1
1-3 北方領土隣接地域への修学旅行実施校の傾向.....	1-4
1-4 修学旅行の行程パターン.....	1-14
1-5 修学旅行誘致に向けた考察.....	1-22
第2章 誘致となる学校の選定と直接訪問.....	2-1
2-1 誘致対象候補校の選定方法.....	2-1
2-2 誘致対象候補	2-2
2-3 誘致対象の直接訪問校の選定.....	2-7
2-4 学校への直接訪問の概要.....	2-10
2-5 直接訪問のまとめ.....	2-14
第3章 旅行代理店のニーズ等の把握.....	3-1
3-1 旅行代理店へのアンケート調査.....	3-1
3-2 旅行代理店へのヒアリング調査.....	3-7
3-3 旅行代理店向け説明会の開催.....	3-8
3-4 旅行代理店調査のまとめと今後への示唆.....	3-15
第4章 モニターツアーの実施.....	4-1
4-1 モデルコースの作成.....	4-1
4-2 モニターツアーのコース造成.....	4-7
4-3 モニターツアーの参加者募集及び勧誘.....	4-8
4-4 モニターツアーの実施概要.....	4-11
4-5 モニターツアーのアンケートの集計結果と分析.....	4-19
4-6 旅行代理店へのフォローアップ.....	4-44
4-7 モニターツアーのまとめ.....	4-46
第5章 修学旅行等の誘致のための提案.....	5-1
5-1 今後の誘致活動の具体的方法.....	5-1
5-2 調査を通じた課題と今後の展開の方向性.....	5-2

5-3	モニターツアーで訪問した施設の課題と誘致に向けた改善点.....	5-5
5-4	今後の修学旅行等の誘致に向けた方向性.....	5-16
5-5	将来的な取組み案.....	5-20

はじめに

本年 3 月、プーチン元大統領がロシア新大統領として返り咲き、北方領土問題を巡る政治情勢に、一定の変化がもたらされる可能性が指摘されている。

その一方で、これまで北方領土返還運動の中心的な役割を担ってきた、元島民の方々を始めとする関係者の高齢化が進む中、北方領土返還運動の新たな担い手の発掘、育成、支援は早急に対応すべき課題である。広く国民に北方領土問題に関する正しい理解と関心の浸透を図ることは当然の活動であるが、特に、次代を担う若い世代に対して、北方領土問題への関心を高め、かつ、理解を深めてもらうための重点的な啓発が必須である。

昨年度は、教育関係者、旅行代理店及び北方領土隣接地域関係者等に対するヒアリング調査や現地調査等を実施するとともに、『修学旅行等における参加・体験型学習プログラム検討委員会』を開催し、北方領土隣接地域への修学旅行を通じた参加・体験型プログラムの利用活性化の取組について検討を行った。

今年度は、この議論を引き継ぐ形で、昨年度の検討結果を実証実験的に実施し、その結果分析を中心とした調査を行った。また、調査遂行においては、『北方領土学習を取り入れた修学旅行等拡充検討委員会』を開催し、今後の方向性等について幅広い観点での検討を実施した。

今年度の調査は、北方領土隣接地域の 1 市 4 町、各都道府県の関係組織及び学校の教育者、旅行代理店等の協力を受けつつ、修学旅行を中心に北方領土隣接地域への来訪が高いと見込まれる誘致対象（学校関係者や窓口となる旅行代理店等）を洗い出し、旅行代理店向け説明会の開催、誘致対象校への訪問、学校向け及び旅行代理店向けのモニターツアーの実施などの直接的な働きかけを実施した。

これらの直接的な働きかけがきっかけとなり、少しずつではあるが当該地域への新たな修学旅行造成の動きも出てきている模様である。今後、修学旅行をはじめとした当該地域へのさまざまな研修・旅行の増加により、特に北方領土返還運動が若年層から広がり、ロシアに対して全国民の強い意思表示として運動を展開することで政府を支援し、一刻も早く、我が国固有の領土が返還されることを祈念する。また、研修・旅行等の際に、北方領土問題をより深く理解するためのコンテンツを、より洗練された形で開発していくことも期待したい。

最後に、調査やヒアリング等にご協力いただいた各団体・個人の方々、本委員会の運営に多大なご協力をいただいた内閣府北方対策本部、事務局各位、そして、新しい課題に対して前向きで真摯な議論、新たなアイデアをご提供くださった委員各位に、心より感謝を申し上げます。

2012 年 3 月

北方領土学習を取り入れた修学旅行等拡充検討委員会
委員長 川上 和久

